

校長あいさつ

本校は、昭和54年4月に島尻地区の知的障害教育を担う学校として開校し、平成23年度から肢体不自由教育を併設、今年で43年の歴史を刻んでおります。

昨年度に続き令和4年度も、新型コロナウイルス感染症拡大が続き感染対策を施しながらの新年度スタートとなりました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からICTを活用した動画視聴での就任式・始業式、密を避けるために人数制限や消毒等の徹底を行いながらの入学式を学部別に執り行い、新年度が始まりました。感染症対策をしっかりと講じながら子ども達の学びの保障に取り組んでまいりたいと考えております。

あらためて本校の紹介をします。本校は、豊かな自然に囲まれた八重瀬町友寄に位置し、知的障害教育と肢体不自由教育を専門とする特別支援学校で、幼・小・中・高等部からなり、寄宿舎も設置しております。また、令和3年度から県立真和志高等学校内に分教室「ゆい教室」が設置され、共生社会の形成及びインクルーシブ教育システムの構築に向け、障害のある生徒と障害のない生徒が共に学ぶ仕組みと、一人一人の教育的ニーズに応じた学習指導の充実に向け取り組んでいきます。

今年度は、幼稚部5名、小学部105名、中学部66、高等部90名、ゆい教室3名の全幼児児童生徒数269名、教職員189名でスタートしています。本校では、「希望にはばたく特別支援学校」として、校訓「1. 自愛 2. 友愛 3. 博愛」を掲げ、日々の生活の中で「まず、自分のことが好きになれるようにがんばりましょう。そして、お友達のことが応援できるようにしましょう。また、みんなのためにできることを増やしていきましょう。」として、幼児児童生徒の将来の「自立・社会参加」を目指し、日々の教育実践に努めてまいります。

また、全幼児児童生徒が、心身ともに健康で、一人一人の目標が達成され成長することができるように、本校教職員一同、生徒一人一人の個性や能力を十分に伸ばし『学校の主人公は一人一人の子ども達』を心ひとつにして全力を挙げて取り組むことをモットーに安全で安心な子どもたちの笑顔あふれる学校づくりを目指します。

ホームページを通して、本校の幼児児童生徒達が明るく、元気に、学んでいる活動の様子をご覧ください、今後とも本校の教育活動に一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年4月

沖縄県立島尻特別支援学校

校長 中山 充雄